

発熱外来 移転のお知らせ

次年度から始まるD棟解体工事に向け、16歳以上を対象としたD棟1階「発熱外来」が、救急駐車場に設置したテナハウスへ移転します。



■3月14日(火)は「発熱外来」休診

新・発熱外来は3月15日(水)の運用開始を予定しています。診察日時はこれまでどおり、月～金曜日の午前中となります。予約制のため、来院の際は事前に電話連絡をお願いいたします。



なお、引っ越し作業を行うため、3月14日(火)は発熱外来を休診いたします。ご不便をおかけいたしますが、ご理解願います。

【連絡先】

- ・月～土曜日(祝日を除く) 8:00～17:00まで
TEL: 04-7099-1111 (亀田クリニック 予約センター)
 - ・日・祝日
TEL: 04-7092-2211 (亀田総合病院 代表)
- ※本来の救命救急活動に支障が出ないよう、救命救急センターでは新型コロナPCR検査は行っていません

営業時間を1時間延長

レストラン亀楽亭

亀田総合病院Kタワー13階の「レストラン亀楽亭」では、コロナ下で長らく夜の営業時間を短縮して19:00までとしておりましたが、2月20日(月)より営業時間を20:00まで延長しました。

昼間とは違う落ち着いた雰囲気の中で、房総の旬の食材を使った料理をゆっくりお楽しみください。なお、日曜・祝日は引き続き休店日となります。

【営業時間】

月～土曜日

11:00～20:00(ラストオーダー 19:30)



新型コロナウイルス 感染症対策を継続中

新型コロナの感染症法上の位置づけを「5類」へ移行させる5月8日に先立ち、政府はマスク着用の取り扱いを見直し、3月13日以降は屋内外を問わず個人の判断に委ねる方針としました。

■引き続き館内ではマスクの着用を

厚生労働省は、見直し後も引き続きマスクの着用を推奨する場面として、医療機関・高齢者施設への訪問時や医療機関の受診時などを挙げています。



医療機関には、重症化リスクの高い高齢の方や基礎疾患(慢性肝臓病、がん、心血管疾患など)のある方、妊娠中の方などが多く来院するため、3月13日以降も館内では引き続きマスクの着用にご協力ください。

感染症法上の分類を変えても、ウイルスの性質が変わるわけではありません。新型コロナウイルスは症状が出る前から他の人に感染が起こるという特徴があります。重症化リスクの高い人が集まる場所では人にうつさないため、また人からもらわないため、お互いにマスクをしておくことが大切です。

大切なお願い



感染症科部長
細川直登医師

人間ドックや健診をご予約の方へ

亀田クリニック健康管理センターでは、人間ドックや健康診断の予約受付時間を下記の通り変更いたしました。ご予約の際は、お間違いのないようご注意ください。

予約受付 04-7099-1115

月～金(祝日除く) 10:00～16:00

土(祝日除く) 10:00～**12:00**

bayfm「MEDICAL UPDATES」

FMラジオ局ベイエフエムの午後のワイド番組『it!! (イット)』では、毎週火曜日の午後3時から、当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナーが好評放送中です。

3月は歯科口腔外科部長の田村英俊歯科医師が、あごの骨の組織や細胞が局所的に死滅してしまう「顎骨壊死」をテーマにお話しします。



第5話 高血圧

腎臓高血圧内科の長岡可楠子と申します。今回は高血圧についてお話をさせていただきたいと思います。

「高血圧」の診断基準

まずは皆様、どれぐらいの血圧が高血圧の診断となるかご存知でしょうか？

日本では、診察室での収縮期血圧(最大血圧)が140mmHg以上、または拡張期血圧(最小血圧)が90mmHg以上の場合を「高血圧」と診断します(家庭血圧値では135/85mmHg以上を高血圧とします)。腎臓のためには130/80mmHg未満がよいとされ、アメリカではすでに130/80mmHg以上を高血圧と定義しています。

なぜ高血圧だといけないのか

簡単に言うと、心筋梗塞などの心臓病や、脳卒中などのリスクになるためです。

高血圧はサイレント・キラーと呼ばれるように、自覚症状がありません。そのために、現在、日本に約4,000万人(国民の3人に1人)と推定されている高血圧患者のうち、実際に治療を受けているのはわずか2割の約800万人といわれています。



高血圧の原因

高血圧の原因として高齢、塩分過多、肥満などが一般的ですが、実は、副腎という臓器の異常が原因だった場合、手術で治せることがあります。適切な治療法を選択するためにも、原因検索はとても大切です。

また、時には、妊娠が高血圧の原因になってしまうこともあります。

妊娠中に血圧が上がってしまうことを妊娠高血圧症候群といいます。そのような方は5年後に高血圧症になる可能性が高いことがわかっています。また、妊娠高血圧症候群になった方の中には、60~70歳で透析が必要になってしまう方がいます。腎臓の機能低下を防ぐためには健康診断で早期診断を行い、早期治療を行うことが必要になりますので、知識を持つことは非常に大切です。当院ではそのような患者さまへの治療も行っています。

治療

基本的には125/75mmHg以下を目指して血圧を下げる治療を行います。ただ、年齢や基礎疾患によって基準値が変わってきますので、注意が必要です。

今は良いお薬がたくさんあります。気になった方はぜひ一度ご相談にいらしてください。



また最近、国から薬事承認されている高血圧診療をサポートするアプリ(CureApp HT 高血圧治療補助アプリ®)も登場しました。降圧剤の使用だけに頼るのではなく、生活習慣の修正も支援する内容で、保険診療内で6ヶ月間受けられるサービスとなっています。当院ではまだ導入できていませんが、今後導入することを検討しています。

このお便りを読んで「ちょっと病院にかかってみようかな」と思った方は、ぜひ腎臓高血圧内科の扉を叩いてください。少しでも皆様のお力になればと思います。

医師紹介

いのうえ
井上

しん
薪 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①消化器内科
- ②消化器疾患全般
- ③釣り、ゴルフ、読書
- ④確実に丁寧な治療を心掛けています。



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <https://www.kameda.com>